

第72回 いきいきサロン

中井町内会いきいきサロン担当／大森 武生

日 時 平成 25 年 5 月 8 日（水） 13：00～15：00

場 所 中井公会堂

1. 見守り新鮮情報／情報収集・門脇正彦

*161 号 裁判に出すと脅し健康食品を送りつける

注文した覚えがないのに「注文した時の録音がある」「裁判に出す」と脅す。
一方的に「商品を送る」などと言われも言った覚えがなければきっぱりと断りましょう。
商品を送ってきても、受け取る必要はありません。

*162 号 勝手に株を購入されて、キャンセル料の請求

買い取り業者など複数の業者が登場して、未公開株の買え買え詐欺（劇場型勧誘）
断ると「裁判にする」、「家を差し押さえる」などと脅される。
一度お金を支払ってしまうと、取り戻すことは困難

2. 災害に備えよう／中区消防署・小坂消防指令の講話

「災害は忘れた頃にやって来る」「備えあれば、憂い無し」です。
消防署の管轄範囲は 火災、救急、災害（地震、台風、津波）です。

災害対策の原則

- 1) 地震は身の安全を確保／頭を守ることを一番に考える
- 2) 揺れが終わってから／火元を止める。
- 3) あわてた行動をしない／ドアを真っ先に開けること
- 4) 足の安全を確保／スニーカーを履いて行動すること
- 5) 中井地区は、液状化現象に注意
- 6) 建築物に注意／特にブロック塀には絶対に近づかない事
- 7) 広域災害時には、消防署員をあてにしない事／交通不能で動けない。

「自助」（自分で自分を守る）備えをしておく。

「共助」（近所の者同士が助け合う）連絡網を準備しておく。

「公助」（一般的に公的機関の助けは三日かかる）。

対策

- ※ 三日間の食料、飲料水を用意しておく。
- ※ 建物の中に取り残された場合の通信手段の確保 携帯電話（連絡、明かりの代用）
- ※ 救急袋にホイッスルを入れておく。（音を出せるもの）
- ※ 家を離れる時、電気のブレーカーを落とす、ガス水道の元栓を閉める。
復旧したとき火災の原因になることを防ぐ。
- ※ 避難場所の確認 中学校、小学校の体育館に避難して救援物資、食料を待つ。

中井町内会は、大森勝 町内会長、山中民生委員を中心に 65 歳以上の
高齢者を対象として「災害時要援護者支援台帳」を策定し支援体制を
整えています、緊急時には手間取ると考えられます。

中井町内会の緊急避難場所は「**サン・クリニック駐車場**」です。
ここまで自力避難してください。

火 災

119 番に通報すると、通信指令室に繋がり、次に地区の消防署に連絡が入る。
通報は固定電話が一番良い 通信司令室に周りの地図が表示される。
携帯電話は半径 50m 位しか出ない。

火災の原因

タバコ火災、テンプラ火災、コンセント火災 が多い。
寝たばこをしない、天婦羅を揚げている途中で電話に出ない、1 年に 1 回はコンセント
の掃除をするなどを励行してください。
特にテレビ、冷蔵庫など設置したまま放置されている、コンセントも大掃除の時には必ず
綿ぼこりを掃除する。

救急車

岡山市で出動が年間 3 万件を超えた。緊急性が低い場合の出動要請は控えましょう。
119 番に電話して「サイレン、赤色灯を点けないで来てくれ」との連絡がある。
このような出動要請や、住所、氏名を名乗らない出動要請も「過剰要請」と判断して
お断りするようにしています。

消火器

中井町内会では「各組年度班長宅」、「自営消防団員宅」消火器を設置しています。
普段から設置消火器を確認しておいて下さい。



消火器の実演訓練

AED

AED(エー・イー・ディー)は、日本語では「自動体外式除細動器」といいます。AEDは、医療機関、公共機関、コンビニにも設置されておりますが、緊急時の活用事例は3%程度とされています。まず設置場所を確認しておき、公民館が実施する「救急講習」などに参加して、活用知識を取得しておきましょう。

4. おたのしみ抽選会

人の命を救う緊張した講習会後の抽選会はなごやかでした。

5. 出席者

大森武生、茂子、仁、勝、満寿子、裕子、西村忠男、松本美智子、中西啓次、門脇正彦、岩坪郁子、松田千津子、青井幸子、梶田恵美子、樋口正恵、本間英子。山中国之、若林美緒、中消防署 5 名、
以上 23 名。